



ある日の午後、お茶飲み友だちと楽しいお喋り



今月から「おしゃべり△サロン」にリニューアルします。世の中の気になったことをおしゃべりします。

ランドセル

今日、娘の代わりに交通当番に行ったら、子どもたちが挨拶してくれて嬉しかったわ。それにランドセルのカラフルさに驚いたわ。

うちの子の時代は男の子は黒、女の子は赤だったよね。

最近、色だけじゃなくブランドやキャラクターもあるって。

子どもが自分でいろいろ選べるようになったよね。でも、教科書をいっぱい入れて重そうだね。

最近ではタブレットがあるから、教科書は学校に置いておくなんてのも聞かよ。



だったらランドセルって必要なの？

ハモン博士解説

小学校生活に欠かすことのできないランドセルは、この十数年で本当にカラフルになったもんじゃない。赤と黒の二択から、色や柄を選ぶようになり、子どもの好みに合わせた実に個性豊かなランドセルがたくさんある。

じゃが、教科書などが詰まったランドセルが重いことは今も昔も変わっておらん。最近では重すぎるランドセルを何とかしようと、当事者である小学生が「さんぼセル」なるものを考案したことが話題になった。タブレットが授業で使われるようになり、これからは教科書事情も変わってくるじゃろう。あと数年後、ランドセルはどうなっておるかの。

問合せ先 大口町NPO登録団体ハモン ☎95-11691

Be Ambitious

vol.344

町内にお住いの20代の皆さんがリレーで登場!

日本語教師のアシスタント

大田 桜子さん(さつきケ丘) H13・4月生



派遣先はタイのチュンボン

教育学部の4年生ですが今年度は1年間休学し、『日本語パートナーズ』というプログラムに参加します。アジアの中学、高校で日本語教師のアシスタントとして授業のサポートをするもので、今月から8か月程のタイでの生活が始まります。先月1か月間の研修を受け、タイ語やタイの文化について学びました。持ち前の『なんとかなるさ』の精神で(タイ語では、マイペンライ!)挑戦してきます。高校生のときにアジアへホームステイした際、身振り手振りで乗り切れた経験から、言葉が通じなくてもコミュニケーションをとれる自信があります。

将来は教員に

大学で専攻している特別支援教育、日本語パートナーズでのグローバルな経験。学んだことや経験を活かし、多様な視点から物事を考えることができる教員になりたいです。

派遣先は美しい海岸が広がるのどかな田舎町にある中高一貫校。景色や市場での食事



▲派遣前研修で出会った世代も地域もさまざまな仲間。現地でもお互いに頼りあっていきたいです。